

アスレティックリハビリテーションⅢ

科目ナンバリング SPS-406

選択 2単位

本郷 仁吾

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーとして活動する際に必要なアスレティックリハビリテーションの技能を、モデルケースへの対応実習を実施しながら身につける。「ただ実技ができる」だけではなく、自ら考え、アスレティックリハビリテーションに必要な評価や処方ができるようになることを目指す。

また、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの合格を目指すために、講義を進めていく。

※本授業の履修者は、3年次のスポーツ現場実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳおよび総合実習Ⅰ・Ⅱの単位を取得していることを履修の条件とする。

2. 授業の到達目標

- ・スポーツ傷害の評価を一人でできる。
- ・スポーツ傷害に対するアスレティックリハビリテーションが実践できる。
- ・スポーツ傷害の評価結果をもとにしたアスレティックリハビリテーションのプログラミングができる。
- ・対象者へのアスレティックリハビリテーション指導ができる。

3. 成績評価の方法および基準

筆記試験(70%)実技試験(30%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー教本⑦ アスレティックリハビリテーション』

5. 準備学修の内容

3年次までに学んだアスレティックトレーナーに関わるすべてのことを理解しておくこと

6. その他履修上の注意事項

アスレティックトレーナー資格取得を目指します。その心構えを持ってきてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 アスレティックリハビリテーションとは
- 【第3回】 足関節捻挫の評価とアスレティックリハビリテーション
- 【第4回】 足関節捻挫のアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第5回】 膝関節靱帯損傷の評価とアスレティックリハビリテーション
- 【第6回】 膝関節靱帯損傷のアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第7回】 肩関節脱臼の評価とアスレティックリハビリテーション
- 【第8回】 肩関節脱臼のアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第9回】 腰痛の評価とアスレティックリハビリテーション
- 【第10回】 腰痛のアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第11回】 アキレス腱断裂の評価とアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第12回】 ハムストリング肉離れの評価とアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第13回】 シンスプリントの評価とアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第14回】 傷害予防トレーニングとその実際
- 【第15回】 まとめと実技・筆記試験